

兵庫県

兵庫県における精神障害者の 地域移行・地域定着支援の推進について

兵庫県では、精神障害にも対応した構築支援事業を取り組むにあたり・・・
精神障害者の地域移行・地域定着支援の推進をベースに、協議の場を中心とした、
ピアサポートの活用、研修の実施等、圏域ごとの地域課題に沿った取り組みを行っ
ています。

1 兵庫県の基礎情報

兵庫県



取組内容

- 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業の活用
- 保健所を中心とした連携体制の整備
- 関係職員等に向けた研修の実施
- ピアサポーターの養成、ピアサポートの活用。

基本情報 ※特に記載の無いものは神戸市を除く

障害保健福祉圏域数 (R4年4月時点)	9	か所	
市町数 (R4年4月時点)	40	市町	
人口 (R4年4月時点)	3,897,830	人	
精神科病院の数 (R4年4月時点) (精神科病床を有する病院を含む病院数: 31 病院)	24	病院	
精神科病床数 (R4年4月時点)	7,963	床	
入院精神障害者数 (R3年6月時点)	合計	6,566 人	
	3か月未満 (%: 構成割合)	1,346 人 20.5 %	
	3か月以上1年未満 (%: 構成割合)	1,079 人 16.4 %	
	1年以上 (%: 構成割合)	4,141 人 63.1 %	
		うち65歳未満	1,501 人
		うち65歳以上	2,640 人
退院率 (R2年3月時点) ※神戸市含む	入院後3か月時点	63.9 %	
	入院後6か月時点	81.8 %	
	入院後1年時点	89.1 %	
相談支援事業所数 (R4年4月時点)	基幹相談支援センター数	34 か所	
	一般相談支援事業所数	114 か所	
	特定相談支援事業所数	341 か所	
保健所数 (R4年4月時点)	16	か所	
(自立支援) 協議会の開催頻度 (R3年度)	(自立支援) 協議会の開催頻度	1 回/年	
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	有・無	
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・障害保健福祉圏域の設置状況 (R3年12月時点)	都道府県	有・無	
	障害保健福祉圏域	9 / 9	
	市町村	20 / 40	

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

精神科病院と行政、地域援助事業者との連携体制のさらなる強化を図ることにより、精神障害者の地域移行を推進

（保健所を中心とし、各圏域ごとに地域の課題に即した事業を実施）

(1) 精神障害者地域移行・地域定着連絡会議の開催

(2) 精神科病院職員等に対する研修

(3) 退院支援プログラムの実施

指定一般相談支援事業所への委託等により下記のプログラムを実施

ア 地域生活報告会

イ 事業所体験プログラム

ウ 精神科病院入院者への退院動機づけ支援

エ 生活訓練プログラム

(4) 精神障害者の家族支援の実施

(5) 精神障害者ピアサポート研修の実施

地域移行支援にかかる精神障害者ピアサポーターを養成

(6) 措置入院患者等の退院後の継続支援に係る事業

(7) 精神医療相談に係る事業の実施

3

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯
～精神障害者の地域移行・地域定着支援を中心とした取り組み～

年度	概要
H15～	精神科病院、健康福祉事務所(保健所)、相談支援事業所等により、運営委員会や退院訓練を実施。
H19～	<p>相談支援事業所に委託のうえ、退院訓練、協議会、地域住民研修、院内での地域生活報告会等を実施。</p> <p>H20～24 健康福祉事務所は地域体制 整備コーディネーターとして位置付け</p>
H27	精神保健福祉センター、精神科病院協会、相談支援事業所に委託し、地域移行関係者研修、ピアサポーター研修、事業所養成等を実施。
H28	<ul style="list-style-type: none"> ・長期入院者精神障害者地域移行推進事業の実施。 ・精神障害者継続支援体制の構築(精神障害者継続支援チーム等の設置)。
	H29.2「精神医療保健福祉のあり方に関する検討会報告書」“精神障害者の地域包括ケアシステムの構築”
H29～	「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業」等を活用し、精神障害者地域移行・地域定着支援事業を実施。健康福祉事務所(保健所)を中心に地域課題に即した事業実施。
R3～	「精神障害者地域移行促進人材養成事業」を実施し、ピアサポーターの養成、活用を強化。

H23～
ピアサ
ポーター
の養成・
活用

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜令和3年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R3年度末)	実績値 (R3年度末)	具体的な成果・効果
長期入院者数(住民所在地ベース) ※精神保健福祉資料より(R3.6月末)	5,497人	5,957人	目標値には至らなかったが、長期入院者数は減少した。
退院率(3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月) ※精神保健福祉資料より	3ヶ月:69.0% 6ヶ月:84.6% 12ヶ月:90.6%	※未確定	※実績値公表後に評価
地域移行・地域定着連絡会議の開催	144回	136回	地域課題の抽出、関係機関の連携、支援の共有等が図られた。
ピアサポーターの活動者数	162人	83人	活動の場は広がっているが、新型コロナウイルス感染拡大により、活動回数の減少がみられる。
精神障害者継続支援チームの設置	12チーム	12チーム	措置入院患者等の精神障害者に対し、退院後に必要な医療や支援が途切れないよう、関係機関による支援体制整備が図られた。
精神科救急情報センターへの精神医療相談数	3,200件	3,293件	警察・消防・家族等からの相談対応により、適切な受診支援が図られた。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

- ・県内全域において、地域移行・地域定着支援に関する連携会議を開催し、連携体制構築に取り組んでいる。
- ・ピアサポートを活用した地域移行支援、地域定着支援の取り組みを進めている。
- ・精神医療相談を神戸市(政令市)と共同実施することにより、行政間の一体的な取り組みが行えている。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
連携体制や取り組みについて 地域毎の差がある	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みやノウハウの共有 ・圏域に応じた取り組みの実行 	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の課題に応じた事業実施 ・協議の場の設定
		医療	<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; text-align: center;"> 圏域における協議の場への参加 等 </div>
		福祉	
		その他関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和5年度)	見込んでいる成果・効果
長期入院者数	5,957人	5,199人	地域移行のための資源の充実
地域移行・地域定着連絡会議の開催	136回	144回	支援体制の整備
ピアサポーターの活動者数	83人	150人	ピアサポーター活動の活性化

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール

時期(月)	実施する項目	実施する内容
R4.4月	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域に応じた取り組み ・取り組みやノウハウの共有 ・各種会議等の開催 	<p>精神障害者地域移行・地域定着支援事業(「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業」等に基づいた事業)実施圏域の選定、実施相談支援事業所委託契約締結。</p> <p>} 圏域ごとに適宜実施</p>
R4.8月～	ピアサポート研修	<p>全県で実施するピアサポーター等の養成にかかる研修 (8月:基礎研修 9月:専門研修 2月:フォローアップ研修)</p>
R5.2～3月	精神障害者地域移行・地域定着支援事業振り返り会の実施	<p>各圏域で実施した取り組み内容や県全体の状況、方向性の共有等</p>